

ケアの生産性を考える・・・

$$\text{生産性} = \text{産出 (Output)} / \text{投入 (Input)}$$

介護の労働生産性とは

付加価値生産性

労働者一人あたりにつき、どれだけ付加価値を生み出したかという指標。
付加価値は通常、粗利益（売上－原価）と考えますが、介護福祉業界の場合、製造物や、原材料、仕入れもないので、付加価値＝売上（収入）とし、それを「常勤換算の従業員数」で割ったものと考えます。



【参考】これに対して【製造業における生産性の定義】は「物的労働生産性」と呼ばれる。
物的労働生産性＝生産量／労働量 「労働者1人あたりが生み出す成果」あるいは「労働者が1時間で生み出す成果」の指標となります

<ちょこっとコラム>

上記はあくまでも、経営資源の「カネ」「モノ」に焦点化した指標である。
政権の導くところの「一億総活躍社会」政策は少子高齢化に真正面から挑み、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」の実現を目的としている。この中で、私たちの仕事は「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」を担うものであり、日本経済に更なる好循環を形成するための「広い意味での経済政策」として子育て支援や社会保障の基盤を強化し、それが経済を強くする、新たな経済社会システムづくりの根幹であるとされている。

ココが重要！！

ケア（介護・保育・医療）が、他産業で働く人たちを安心して「生産活動」に従事することを支え、他産業の生産性を向上させているということ。人々の生活を支える社会保障サービスがあつてこそその経済活動であると考え、単に「付加価値」＝売上（収入）とし、それを「常勤換算の従業員数」で割ったものと考えただけでは、ケア産業の「付加価値」は語れないと思うのだが・・・。（編集者Y）

聖隷福祉事業団の介護の労働生産性を向上させる取り組みの紹介



分母＝労働投入量(Input)を小さく

浜北愛光園

【排泄予測ウェアラブル】

小型の超音波エコーを腹部に装着することで、膀胱の動きを測定し個々に合わせた排泄ケアが実践出来るようになりました。一人一人の排尿タイミングが予測できる事で排泄誘導での効果が上がり、適切な時間にパッド交換を行う事で、ご利用者の安心安楽を保ちながら業務効率の向上も図れています。詳しくは→<https://dfree.biz/>

エデンの園

【インカム】

イヤホンとマイクが一体となった無線機です。ボタンを一つ押すだけで会話が可能。施設での非効率な時間とは、「人を探す」「状況を把握する」「情報を周知する」ときです。インカムにより、その場を動くことなく職員から情報を収集し、状況を把握し、指示の伝達が可能です。職場の全員に一斉に周知することで、連携が劇的に改善しました。



分子＝成果 (Output)を大きく

和合愛光園

【夜勤職員配置加算 (IV)】



和合せいれの里内の地域密着型特養「和合サテライト」において、夜間帯における喀痰吸引有資格者の配置が可能となり、夜勤職員配置加算 (IV) イ61単位を取得できるようになりました。試算では年間約160万円の増収となります。

夜間配置困難な看護職の業務を介護職が担えることで利用者への対応力＝労働効率が向上し、その結果成果も向上させる好事例となりました。

IT・IOT・ロボット技術、コミュニケーション機器による効率化

専門性の高度化による収入UP

平成30年度 研修受講生募集中!!

- 介護職員初任者研修〈静岡県〉通信制
- 喀痰吸引等研修（第一・二号研修）
- 喀痰吸引等研修（第三号研修）
- 医療的ケア教員講習会

研修等の詳細はホームページをご確認ください
<http://www.seirei.or.jp/hq/career/career02/>



編集後記

今年もあつという間の師走。世の中は国会審議も、巷の飲食店の入り口の「アルバイト急募！」のポスターも人手不足、不足と煽りまくり。そんな中でも、企業努力によって生産性を向上させていきましょう！という事で編集しました。下段の取り組み事例は、施設担当者へ原稿や写真を依頼。内心、「また仕事を増やしてやがってえ」と思われているだろうな（苦笑）と自戒しながらも、一つひとつの小さな積み重ねが大きな効果＝施設の質や職員の専門性、やりがいにつながると信じています。皆さんの仕事に何かヒントになれば幸いです。（Y）